

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリューズ)～ 今日より良い明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

P2 運用部長・糸島の「投資行動とパフォーマンス」で運用状況をチェック！

P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオをチェック！

P4 シニアアナリスト・上野の「今月のピック！」で気になる投資先の話をチェック！



「創業時の想い」

リーマンショックから5年。メディアでも当時の状況の解説とともに、この5年間での変化を報道しています。金融においては、投機的な



創業時の写真

「勝った、負けた」というゼロサムの「ゲーム」の場を提供するのではなく、企業価値創造という経済社会にとって極めて重要な行為を提供するという本質に立ち戻ることが求められることになったと考えています。

コモンズはリーマンショックの真っ只中に産声をあげました。当時の法定書類には、ファンドの価値観として、『私たちのファンドは、「現役と次世代の生活者にとっての豊かな社会を導く長期投資」、「企業の永続的な繁栄と価値創造を応援する長期資本」を育むことを目的としています。』としています。また、30年目線の長期投資の特徴として以下のようなことも記しています。

・私たちちは、お客さま(受益者)が企業の価値創造に参加するために、30年目線の長期投資を実施します。市場の短期売買偏重は、企業が価値を創造する時間軸に合致していない場合があり、私たちは、長期投資を通じて、

渋澤と伊井の「今月の想い」

本来の直接金融の意義である資金提供による企業への本質的な価値創造にコミットしていきたいと考えています。

・投資リターンは本来、企業の創造した価値の配分です。そのため、企業が価値創造する時間の少ない短期投資よりも、企業の長期的な価値創造とともに歩む長期投資のほうが、お客さま(受益者)にとってもその配分を享受できる機会が多いと考えます。

・コモンズ30ファンドは、ご自分の長期の資産形成というだけでなく、お子さんやお孫さんといった次世代以降も意識した投資と位置付けています。

私たちは、「変えてはならないこと」と「進化するために変えていかないといけないこと」を意識しています。5年前の創業の想いは、勿論、前者です。この改訂版コモンズレターは創業の想いを大切にしつつ充実を図りました。どうぞ、引き続き、コモンズにご期待ください。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長
伊井哲朗

※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

基準価額の推移

基準価額 基準価額（税引前分配金を再投資したものとして算出）



ファンドのデータ

(2013年9月30日付)

基準価額	18,301円
純資産総額	4,099百万円
受益権総口数	2,240百万口

基準価額（税引前分配金を再投資したものとして算出）の騰落率

(2013年9月30日付)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
7.69%	5.25%	12.42%	54.64%	52.26%	88.86%

直近5期分の分配実績

第1期 (2010年1月18日)	第2期 (2011年1月18日)	第3期 (2012年1月18日)	第4期 (2013年1月18日)	
120円	130円	0円	200円	

運用部長・糸島の「投資行動とパフォーマンス」

「9月の組入れ銘柄数(新規買付銘柄、全売却銘柄)」 9月末の組入れ銘柄は、1銘柄売却して30銘柄に戻しました。全売却銘柄は「ファーストリテイリング」です。売却理由は、弊社が重視している対話の姿勢が大きく欠けているからです。具体的には、単独での直接取材を申込み、粘り強くアプローチしましたが、実現には至りませんでした。新規の組入れ銘柄はありません。投資委員会(議長:CIO)で運用部が提案した銘柄は数銘柄ありますが、継続審議となっています。

「9月の株式組入比率」 8月末は、シリア情勢の不透明感等から業績に悪影響を受けやすい銘柄の株式比率を83.6%まで一時的に引き下げていました。9月初旬にリスクが遠のいたと判断して90%台に同比率を引き上げました。9月中旬(18~20日、日経平均14700円前後)、米国の不透明感(FRB次期議長未定、QE3緩和縮小リスク、債務上限問題等)等へ対応するため、悪影響を受けやすい銘柄の一部を売却。前述の「ファーストリテイリング」も全売却して80%前半に同比率を引き下げました。9月末には79.6%になっています。

「9月のファンド月間リターン」 9月のファンド月間リターンは7.69%の上昇となりました。当ファンドにはベンチマーク(比較指標)はありませんが、同月のTOPIXは7.96%上昇しています。ファンド組入れ銘柄(30銘柄)の月間騰落率では、20%以上上昇した銘柄が4銘柄ありました。「楽天」、「日東電工」、「カカクコム」、「東京エレクトロン」です。逆に下落(マイナス)になった銘柄は「エーザイ」と「ディスコ」2銘柄です。

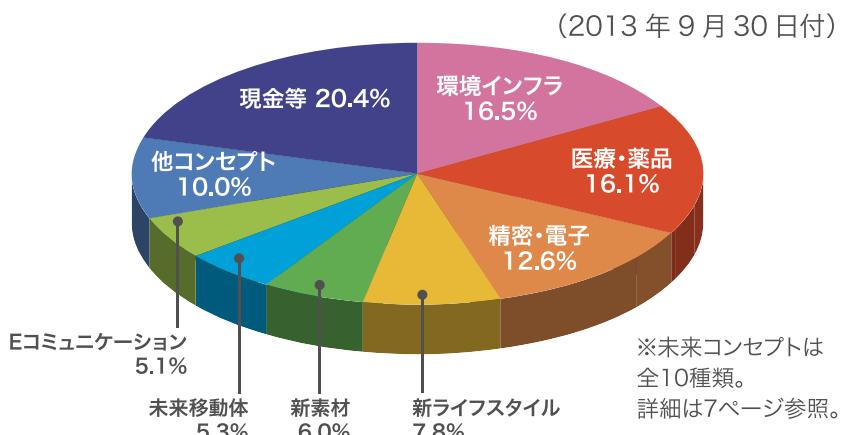
「運用・調査体制について」 2013年5月、糸島孝俊(2013年2月入社)が運用部長・チーフポートフォリオマネジャーに就任しました。それに伴い、「投資委員会と運用部」の役割・関係、「投資先選びのプロセス(運用プロセス)」をより明確化させました(7ページ目をご参照下さい)。また、2013年6月に上野武昭がシニアアナリストとして入社、調査体制を強化しています。

運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
株式	79.6%	-4.0%
現金等	20.4%	+4.0%
構成銘柄	30社	-1社

未来コンセプト別構成比



組入上位10社

(2013年9月30日付)

企業名 [コード]	未来コンセプト	概要
ユニ・チャーム [8113]	食・ヘルスケア	これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアでの成長を目指しています。経営の仕組み化や、他社から学び継続的改善をおこなっていることは、強みの一つです。
味の素 [2802]	食・ヘルスケア	日本の昆布だから抽出した「うま味」を発見、世界の食文化に合わせた、調味料や加工・冷凍食品、飲料などを提供しています。2050年の世界人口90億人時代を見据え、東南アジア、中南米、アフリカで販売ネットワークを構築、ネスレ、ユニリーバ、ダノンを追いかけています。
ヤマトホールディングス [9064]	新ライフスタイル	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ。大型物流拠点を構築、電子商取引業者からの需要、B2B(企業間)の物流需要の取り込みなど総合物流企業へと変貌していきます。国内の当日配送エリアは拡大の方向、アジアへの生鮮食品の輸出増加なども期待されます。
ホンダ [7267]	未来移動体	お客様に自動車のみならず、夢の詰まったモビリティー(移動体)を適正価格で提供します。歴史的に難局に強く、創業から脈々と流れるチャレンジ精神で、持続可能な成長を遂げています。
シスメックス [6869]	食・ヘルスケア	血液検査機器では、国内第1位、世界第9位、特に血球計数分野では世界No.1の実力を誇ります。更に、赤血球分析から、免疫、DNAへ、大学、研究所、病院を顧客に急発展し、サステイナブル企業として成長を続けています。
クボタ [6326]	環境インフラ	長期的に世界の食糧需要が増加するなか、世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持っています。今後は、特にアジアでの成長が期待されます。
楽天 [4755]	Eコミュニケーション	社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立ちます。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行っています。
信越化学 [4063]	新素材	収益に対しての執着心が強く、強いポジションを築いています。塩化ビニルなどの汎用品と、半導体ウエアなどの先端テクノロジーの双方で高いシェアを獲得しています。
ダイキン [6367]	環境インフラ	世界に誇る日本の省エネ技術、強い販売力、優れた商品力が競争力の源泉であり、アフターケアとメインテナンスを絡めた総合力も抜群です。
ローソン [2651]	食・ヘルスケア	栄枯盛衰が激しく、成熟企業が稀有な小売業において資本政策、ガバナンスを意識した質の高い経営を実践しています。人口減、高齢化等の環境変化に対応し、他業態や海外展開を試行錯誤しながら、持続的な成長を目指します。

新規組入投資先

なし

シニアアナリスト・上野の「今月のピック！」

株式市場で、9月に注目を集めた話題として、東京エレクトロンと世界トップの半導体製造装置メーカーである米・アプライドマテリアルズの経営統合のニュースがありました。東京エレクトロンは、2009年の運用開始まもなくから組入れている銘柄です。「創業時のエネルギーが、脈々と続く、'革新'を続ける会社」として注目していました。私たちは、今回、ハイテク分野で、日米トップ企業の統合を実現した、同社の東哲郎代表取締役会長兼社長（CEO）の英断を評価しており、事業環境が変化しても「革新」していく会社という認識も変わりません。コモンズでは、企業文化やマネジメント、ガバナンス、国際競争力、ブランド力など定性的な調査を重視しています。創業時からの経営理念、トップの在任期間や年齢、意思決定の仕組みなどを考慮し、長期で企業価値を高めていける会社かどうかを訪問取材を中心に丹念に調査しています。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

投資先の主なニュース

日付	銘柄名	ニュース
9月 20日	ヤマトホールディングス	10月上旬に稼働する大型物流センター「羽田クロノゲート」の竣工式を実施。 国内最大級の集配送拠点を設け、国内大都市間での当日配達、 アジア各地への翌日配送の体制を整備。
9月 24日	シスメックス	細胞分析装置などの開発・販売を手掛けるパルテックなど独2社を買収すると発表。
9月 25日	味の素	横浜市立大学付属病院などと組み、採取した血液から複数のがんのリスクを判定する「アミノインデックスがんリスクスクリーニング」の検診データベースを構築。
9月 25日	ユニ・チャーム	2015年3月期にも中国の工場に生産ラインを設けて、高機能の紙おむつの製造・販売を本格展開。所得水準の向上に伴う高機能品の需要拡大に対応。
9月 27日	ホンダ	無人で駐車ができる自動運転車を開発。自動運転は「究極の安全技術」とされ、自動車の中核技術になる可能性が大。
9月 30日	楽天	電子商取引事業で年内にシンガポール市場に参入。参入済みの台湾では来年にも「楽天カード」で決済可能とし、海外で初めてクレジットカード事業に進出。

メディアに登場！

日付	掲載メディア	内 容
9月 1日	日本経済新聞電子版	渋澤のコラム「NISAにため息長期投資へ真の改革を」が掲載されました。
9月 13日	日経CNBC	9/10～9/13の4日間、日経CNBC「ラップトゥディ」にレギュラー コメンテーターとして運用部の糸島が出演いたしました。
9月 16日	東洋経済ONLINE	渋澤が参加している草食投資隊のコラム、「草食投資隊をフォローせよ 『東京五輪開催で、失われた20年に倍返しだ!』」が掲載されました。
9月 22日	日経ヴェリタス	9/22発売の日経ヴェリタスに渋澤のコラム 「愛と資本主義」が掲載されました。

今月のSEEDCap情報「社会を良くする活動と一緒に応援しましょう！」



SEEDCap コーナー第一弾は、今年度応援先に決定した NPO 法人「マドレボニータ」の吉岡マコさんをご紹介します。

マドレボニータとはスペイン語で「美しい母」の意。近年社会問題となっている「産後うつ」や「乳児虐待」の犠牲者をひとりでも減らせるよう「産後ケア」が当たり前に受けられる社会を目指して、吉岡さんをはじめ「マドレボニータ」のメンバーは日々活動を続けています。心身ともに最も不安定な状態にある「出産後」の女性が、心と身体の健康を取り戻し、家庭でも社会でも自分らしく力が發揮していくようサポートする産後の教室を全国で開催するほか、『産後白書』の発行など調査研究や社会への啓蒙活動にも力を入れています。



写真は、先日 SEEDCap 担当者も参加させていただいた Madre Bonita DAY 2013 の様子。会員、産後クラスの卒業生を中心に約 70 人が参加。マドレボニータのこれまでの歩みや目指す未来について、あらためて想いが共有された会でした。

セミナーでコモンズを体験しませんか！？

セミナー名	日付	時間	場所
初めてのコモンズ	10月 8日(火)	13:00～15:00	コモンズ投信オフィス
	10月 12日(土)		
	10月 23日(水)	19:00～21:00	
くつろぎBAR	10月 16日(水)	18:00～20:00	コモンズ投信オフィス
社会起業家フォーラム	10月 5日(土)	14:30～17:00	東京都千代田区
草食投資隊セミナー	10月 19日(土)	9:30～17:00	千葉県匝瑳市
仙台セミナー	10月 20日(日)	14:00～16:00	宮城県仙台市

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターからお願ひいたします。

<http://www.commonst30.jp/seminar/schedule>

03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時～午後5時受付)

マーケティング部から「今月のコモンズは！」

9月は半ば過ぎまで暑い日が続きましたが、下旬からは暑さも和らぎ、過ごしやすくなりました。一方で、三連休などお休みが多く、夏の終わりを楽しむためにお出かけになられた方も多いかったのではないでしょうか？

そんな中、コモンズでは9月も多数のセミナーを開催しました。今話題のNISAに関しても、大小合わせて3回セミナーを行いました。初回は、前半で証券税制に精通した森税理士による講演、後半で森税理士とコモンズ社長・伊井による質疑応答、という2部構成で行いましたが、ご出席の多くの方々からたくさんのご質問をいただき、対話感の溢れる、とても内容の濃いイベントとなりました。因みに、前半部分についてはUSTREAMでご覧いただけます。<http://www.ustream.tv/channel/commons30-live> へ是非どうぞ！10月は、毎年恒例のコモンズ社会起業家フォーラムを行います。また、今後はこれまで以上に、コモンズの運用そのものについてお伝えする機会を増やしていく予定です。皆さま、これからも応援をよろしくお願ひいたします。

マーケティング部長 中澤 泰彦

お客様の声

セミナー参加者からのコモンズへいただいたメッセージをご紹介いたします



お客様

毎回、様々な企画をありがとうございます。人と人が直接出会い、空間を共有することによって新しい付加価値が創造される気がします。これからも応援しています。



お客様

株価乱高下で市場が混乱していますが、淡々と投資をお願いいたします。又、社会的責任も合わせて活発な活動を継続してください！

お客様のデータ

(2013年9月30日付)

顧客数	3,753人 (+63人)
うち積立	2,513人 (+52人)

口座数と純資産総額の推移



コモンズ流投資判断

「投資委員会と運用部」

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 30%を超える現金比率についても、投資委員会で判断
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長
渋澤 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(1%~5%) ・現金比率の決定(30%以下の場合)
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

「投資先選びのプロセス」



未来コンセプトについて

当ファンド独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10				
商業・資源	環境インフラ	代替エネルギー	新素材	未来移動体
精密・電子	食・ヘルスケア	新ライフスタイル	E-コミュニケーション	教育・娯楽

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年 1.2075% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の 0.105% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	平成21年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることができます。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先

■コールセンター（受付時間／平日 9時～17時）

03-3221-8730

■メール

commons-call@commons30.jp

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さんに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘のために作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者

関東財務局長(金商)第 2061 号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階